

# 一般質問通告書

通告順番 1番  
通告者 豊瀬 和久 議員

質問事項	質問の主旨	質問相手
給水スポットの普及 推進について	<p>水分補給による熱中症対策、プラゴミを減らし、CO2を減らすという一段階進んだ環境保護と地球温暖化対策を同時に図る方策としてお出掛け先でマイボトル等に水道水を入れられる給水スポットの普及を推進していくべきではないか。</p> <p>また、海外からの観光客に熊本の美味しい水を知ってもらおう絶好の機会にもなると思うがどのように考えるか。</p>	企業長
大津菊陽水道企業団 の美味しい水のPR について	<p>熊本市は地下水をペットボトルに詰め、オフィシャルウォーター「熊本水物語」と名付け、ペットボトル500mlを1本100円で販売している。また、蛇口をひねればミネラルウォーターというキャッチフレーズをPRするためのステッカーと卓上広告を作成し、観光客が訪れるレストランや居酒屋などの飲食店、ホテルや旅館といった店舗で、日本一の地下水都市をPRしている。このように、大津菊陽水道企業団も私たちの日々飲んでいる水の価値を高めるためのPRの取り組みを積極的に行うべきではないか。</p>	

# 一般質問通告書

通告順番 2番

通告者 永田 和彦 議員

質問事項	質問の主旨	質問相手
過去の事例にみる危機管理について	<p>水質異常や水道施設事故によって生命や健康の安全を脅かす事態が生ずるおそれがある又は生じている場合は厚生労働省において定める飲料水健康危機管理実施要領に基づいて情報が報告されるが、クリプトスポリジウム、ジアルジアなど耐塩素性病原微生物の水道原水中での検出事例がある。それらを含め病原微生物等に関連する事例や化学物質に関連するものなど、健康への危害が生じた又はおそれが高く給水停止などの措置を講じたものは毎年10～20件程度生じている。</p> <p>厚生労働省健康危機管理基本指針に準じた情報収集、対策は基より大津菊陽管内で起こりうる事件を想定した管理体制は十分か。事前対応できるものを最大限充実させていく不断の努力を求めたい。</p>	企業長